

第6回鋼構造セミナー「許容応力度設計法の諸問題」

主催 日本建築学会中国支部、日本鉄鋼連盟

共催 日本建築構造技術者協会中国支部、協同組合広島県鉄構工業会

日時/定員/参加費 9月29日(土) 13:30~16:30/80名/1,000円

対象本会・共催団体会員、建築技術者、大学院生、大学生

会場 広島工業大学広島校舎(広島市中区中島町5-7)

概要 2005年9月に鋼構造設計規準「許容応力度設計法」が改定された。今回のセミナーでは、構造設計者等から要望された改定内容における疑問点について議論する。まず、許容応力度の中で大幅に変更になった許容曲げ応力度を取り上げる。弾性横座屈モーメントや曲げ材の細長比について解説する。次に、疲労設計に関する基礎的内容について議論する。疲労を専門とする機械分野の研究者が疲労設計の諸問題について解説する。更に、建築分野で疲労を問題とするクレーンガーダーの設計例について構造設計者が紹介する。最後に、質疑応答を行う予定である。本セミナーは、鋼構造設計における疑問点・問題点を参加者全員で解決するように企画されたものである。是非とも、構造設計者、鋼構造製作技術者、および大学生・院生の積極的な参加を期待しています。

- 内容
1. 許容応力度設計(高松隆夫・広島工業大学教授)
 2. 疲労設計(菅田 淳・広島大学大学院教授)
 3. クレーンガーダー設計例(JSCA会員)

問合せ・申込先 〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1 広島工業大学
工学部建築工学科 高松隆夫 takamatu@cc.it-hiroshima.ac.jp